

事業所名

ふらわあ

支援プログラム

作成日

2024年

11月

1日

法人（事業所）理念	1. 個人を尊重していく、2. 施設は利用者のためにある。この原則は何ものにも優先する。3. 共に感じあい、共に生活をし、ともに育まれる。 4. 地域の中で人的、物的社会資源を生かし、その中で生きていく。									
支援方針	1) 本人支援の5領域(「健康・生活」、「運動・感覚」、「認知・行動」、「言語コミュニケーション」、「人間関係・社会性」)を踏まえた児童発達支援計画(個別支援計画)に基づき、発達を総合的に支援していく。2) 利用者の主体性を尊重した、自己選択・自己決定への支援(意思決定支援)。3) 利用者のニーズの把握と、それに伴う情報提供、利用者の家族や他の社会資源との連携を図り、個々のニーズに応える。4) 事業所に対する苦情解決に積極的に取り組む。5) 地域との交流を図る。6) 利用者の健康面(日々の体調、疾病、投薬管理等)に留意する。									
サービス提供時間	放課後利用	9時	0分から	16時	0分まで	営業時間	9時から19時まで	送迎実施の有無	あり	なし
	休業日利用	13時	0分から	17時	0分まで					
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	安全・安心にサービスを利用出来るように健康面・安全面の把握に努めます。活動の見通しを持ち、そのお子様なりに自立して活動に取り組めるよう、個別のスケジュールを提示します。また、変化に柔軟に対応出来るように、日頃から中止、変更、追加を視覚的に伝え、変化に対応出来るよう支援します。日常生活スキル、身辺処理のスキルを身につけられるよう、アセスメントに基づき、そのお子様にあったプログラムを用意し、支援します、								
	運動・感覚	事業所内での体を動かす活動(トランポリン、ロデオマシーン、エアロバイク、小集団での遊び等)や散歩や公園遊びなどを提供します。また、トランポリン等の粗大運動で体の土台作りを支援し、ハサミや書字等の微細面の力も伸ばせるよう支援します。学校を卒業した後の就労を見据え、手押し車やスコップなどの道具を使った作業にも取り組んでまいります。								
	認知・行動	自立課題に取り組むことで物の形、色、数、概念等の習得を支援します。感覚の過敏さについて、刺激の回避や対応の方法を教えます。行動上の課題が生じた場合、行動の原因を探り、予防的な支援や解決の方法を検討し、支援を行います。								
	言語コミュニケーション	周囲の人とコミュニケーションをとりながら、自分の気持ちを伝えることが出来るよう支援します。言葉やカード、文字などを使って意思表示が出来るように支援を行います。直接的な行動で周囲に受け入れられない表現の方法で意思表示をしている場合は、適切な形で意思表示が出来るように支援します。								
	人間関係社会性	スタッフや他のお子様と関わりを持ちながら人間関係を広げ、他者との信頼関係を深めたり、集団での活動を行うことで社会性を育みます。また、事業所や学校、家庭での様子をご本人に聴き取りしながら、課題となっていること、悩んでいることを一緒に整理し、対応の方法を考えます。								
家族支援	事業所で取り組んでいる支援について、ご家庭でも取り組みが出来るようお話をしたり、ご家庭で課題となっていること(ご兄弟も含め)について解決方法を一緒に考えさせていただきます。				移行支援		進級、進学、学校卒業後の移行に向けた支援を行います。お子様の障害特性や強み、感覚面の特性など情報を提供し、スムーズな移行を支援します。			
地域支援・地域連携	お子様の通われている学校や併用している事業所、相談支援事業所との連携して、支援を行います。				職員の質の向上		年間を通じた研修計画に基づき、事業所内外でスキルアップを図っています。			
主な行事等	事業所としては七夕まつり、ハロウィン、クリスマス、買い物体験等を行っている。個別のニーズに応じて、ファーストフード店やコンビニエンスストア等への外出も実施。									